

HSK

生きる仲間

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 H・S・K通巻436号

◎発行日 平成20年7月10日(毎月10日発行)

◎発行責任者 鈴木 啓三

◎編集 札幌腎臓病患者友の会

札幌市北区北17条西2丁目2番38

サザンアベニュー北大301

◎発行所 北海道身体障害者団体 定期刊行物協会

札幌腎臓病患者友の会

第85号

第33回札幌腎友会定期総会開かる 札幌市障がい者交通費助成制度見直しの経過報告



第33回定期総会風景

札幌腎友会定期総会開かる!

患者の未来は明か、暗か?

恒例の定期総会が開かれ、前年度の総決算と新年度予算及び活動方針が討議されたが、今年四月にスタートした後期高齢者医療制度の「矛盾と問題点」について、熱い討議が加えられた。

平成二〇年五月一日(日)午前九時三〇分より北区民センターに於いて六五名の出席者により、総会及び透析者の一〇周年記念表彰が行われました。

定刻に福原副会長の司会により開始され、全員「黙祷」の後、鈴木会長の挨拶がありました。

『昨年度は会員並びに役員の皆さまのご協力により滞りなく計画を実施できました。しかし会員数の減少に対する歯止めをかけられず、役員の中には体調を

くずし活動ができなかった人が複数出たことは非常に残念なことです。

現在全国で二七万人を越える透析患者が居て(糖尿性腎症は四〇%超)その医療費は一兆円(年間)に達しています。

医療点数の変更や、ダイアライザール料の引き下げにより、高性能の品が使いづらくなり透析不充分が心配されます。

今年四月より後期高齢者医療制度が始まり六五歳以上の障害

者がこの制度に組み込まれ、低所得者が特に重い負担となることが、懸念されます。

又、札幌市では行財政改革の一端として心身障害者交通費助成の見直し案が出ています。私達にとっては厳しいことばかりです。

会活動として市議会への「陳情行動」や市担当者との「情報交換会」を続けてまいります。

このような制度改悪に反対すべく今後とも活動を続けていきますので、皆さまのご協力をお願いします。(会長談)

つぎに司会者よりご来賓の札幌市議会議員の紹介があり、自由民主党・宮村もと子氏、公明党・福田浩太郎氏、日本共産党・岩村よね子氏のお三方のご挨拶をいた





鈴木会長



岩村よね子 市議会議員



福田浩太郎 市議会議員



宮村もと子 市議会議員



司会の福原副会長

などのような心強いご挨拶をいただきました。
ひき続き小澤幹事により「祝電・

岩村氏 難病、慢性疾患のかたがたにとつては、厳しい情勢が続いていて、障がい者はこの制度に入らないと、医療助成が、受けられなくなると言う、何の選択の余地もなく、又年齢による医療内容の差別や終末期における医療費の節約などには、医師側からも大きく疑問が出ています。

福田氏 少子高齢化の中、後期高齢者保険制度が当事者の目線に立っていないのではないのでしょうか。

宮村氏 交通費助成制度の見直し陳情に対する支援をしていきたい。



議長に菅木副会長

- 審議事項として
- (1) 平成二〇年度活動方針案 (鈴木会長)
 - (2) 平成二〇年度予算案 (矢田会計)

- (3) 平成一九年度監査報告 (棚田まゆみ) (山田 忠彦)
- (2) 平成一九年度決算報告 (矢田会計)
- (1) 平成一九年度活動報告 (福原副会長)

メッセージ」の披露があり(別頁参照)ました。
ご来賓退場の後、表彰式に移り受賞者五九名中一名の方々のご出席を得て、鈴木会長より表彰状と記念品が授与されました。
ご来賓退場後菅木副会長が議長に選出され議事に入り報告事項として



決算報告をする矢田会計

- (4) その他として福原副会長より「青い鳥はがき」の協力の件、道腎協滝川大会の案内、交通費助成の意見交換会等の案内がありました。最後に外川運営委員より閉会の挨拶があり正午過ぎに終了しました。(H・N・メディックさっぽろ東) 庄野 一男

右についての質疑応答があり、後期高齢者医療の問題点や会としての今後の取り組み方法及び未加入者に対する拡大運動方針や、前年度施設訪問に対する成果に対する質問・意見発表があり、年度活動方針及予算案が承認されました。
(3) 役職紹介として、坂運営委員より中途選出の役員紹介と、鈴木会長より退任役員に対する労いのことばがありました。

祝電・メッセージ

- 札幌市議会議員
市民ネットワーク北海道 伊藤 牧子 様
- 札幌市保健福祉局 保健所長 館石 宗隆 様
- 市立札幌病院腎移植科 部長 平野 哲夫 様
- 財団法人 北海道腎臓バンク 理事長 武井 正直 様
- 社団法人 全国腎臓病協議会 会長 油井 清治 様
- 岩見沢市立病院腎友会 会長 佐々木健仁 様
- 江別腎臓病患者会 会長 矢野 清 様
- 釧路地方腎友会 会長 掛札 聖 様
- とがち腎友会 会長 井原 忠廣 様
- 苫小牧腎友会 会長 菊地 秀明 様
- 小清水腎友会 会長 佐伯 英春 様
- オホーツク腎友会 会長 佐々木保子 様

ご祝辞

- 札幌市議会議員 自由民主党 宮村もと子 様
- 札幌市議会議員 公明党 福田浩太郎 様
- 札幌市議会議員 日本共産党 岩村よね子 様

サンプル提供

- エルピス株



祝電・メッセージ披露の小澤幹事



会計監査報告の山田・棚田両監査役



閉会挨拶をする外川運営委員



役員 受付風景

熱心な発言者の方々



透析10周年おめでとうございます

長期透析表彰者名簿 (敬称略)

●石川泌尿器科

高松 栄子・西 静子
三上 重雄

●稲積公園駅前クリニック

千葉 光子

●H・N・メディック

越智 栄子・薮内 豊
吉田 彰悦

●H・N・メディック

さつぽろ東

嶺岸 良子

●NTT東日本札幌病院

河野 恒雄

●小笠原クリニック

札幌病院付属外来プラザ
樋口 義市

●勤医協中央病院

青木 久保・遠藤 憲一
馬場勇一郎・村田 栄子

●五輪橋内科病院

佐藤 サチ

●札幌北クリニック

白土 恵子・服部登起子
牧野達太郎

●札幌厚生病院

西澤 俊郎・本田 勉
森元 哲雄

●札幌セントラルクリニック

匿名 名

●札幌北楡病院

小磯かほる・後藤 友子
坂井高之丞・柴谷 桂子
武田 寿・田辺 哲明
萩野フミ子・矢嶋 信事

●札幌南一条病院

石ヶ守芳子・野脇 邦宏

●三樹会病院

吉野加津美

●篠路はまなすクリニック

外崎 芳江・矢野 稔

●新札幌循環器病院

佐々木 栄子

●仁楡会病院

両瀬 洋子

●澄腎クリニック

阿部香代子

●桑園中央病院

石井 良子・鷺見しづか

●田島クリニック

村上 貞子

●手稲ネフロクリニック

荒井賢太郎

●ていね泌尿器科

寺中 武裕

●中野医院

本間 治郎・渡辺 政義

●新井田医院

土肥智恵子

●東苗穂病院

小田部弘子・平井 順子

●星野泌尿器科

鈴木 雍

●宮の森記念病院

下村美千子・内藤 武
中谷 秀機

●石狩病院

大累フミエ

●H・N・メディック北広島

今井 静・三宝 正延
政氏 久寿・山口 栄子

●個人会員

内田 市郎・内田登美子

第33回札幌腎友会定期総会



会長(前列中央)と表彰式出席の皆様

囲碁同好会の ご案内

札幌腎友会では、親睦交流活動の一環として、囲碁同好会を始めたいと思います。

同好会の会員を募集いたしますので、囲碁に興味がある方は世話役まで電話にてご連絡ください。

世話役 美馬 勲

☎八八二一〇三三

道腎協第31回定期総会に 参加して

矢田 孝子

(札幌南一条病院)

平成二〇年六月一日(日)、滝川ホテル、三浦華園に於いて一三〇名の参加者で、定期総会が開催されました。

午前一〇時吉野幹事の司会で始まり、亡くなられた多くの先輩と仲間と黙とうを捧げました。

残念ながら川村会長は体調を崩されており、掛札副会長が代行されました。早く回復される事を願うばかりです。昨今の会員数の減少にも触れられ、団体としての組織の強化をと訴えられました。

来賓の方々は一様に医者・看護師不足・地域医療の崩壊等々……医療環境は厳しく、全力を上げて再生を図っていきますと述べられておりました。見守っていききたいと思えます。

又、田村滝川市長の挨拶の中で

観光もしっかりアピールされていて印象に残りました。例えば味付ジンギスカン発祥の地である事、日本一の菜の花畑がある事等です。続いて福留幹事(室蘭)より祝電・メッセージを披露していただき、ここで来賓の皆様は退席されました。続いて議事に入り、前年度の活動報告、決算報告、会計監査報告、次に、二〇年度の活動方針、予算を一括報告し拍手で承認されました。

又、機関誌の発行回数についての提案があり、年四回は多過ぎる(見ない人もいる)。臨時号で充当しては等意見が出ました。

片や楽しみにしている方もいる事、会員同志を結ぶ絆でもあると賛否両論でしたが、荏木事務局長より後日委員会の方で検討させて

頂くという事になりました。

役員紹介、二〇年度スローガンに続き、総会を力強く宣言され、拍手で採択されました。

栗山氏(釧路)に感謝状の贈呈が行われ、代理の方が受賞し、最後に山口副会長の挨拶で閉会となりました。午後一時より医療講演が行われ、砂川市立病院高塚慶次先生を講師に、医療崩壊の現状を事細く説明がありました。期待する医療を、居住している地域で受ける事ができず透析中断せざるをえない病院も増えると言う。

リンとカルシウムの代謝異常について治療薬の紹介もあり、又、医師と患者双方にも視点をおいて、最近の医療情報の提供、適切な透析の実施、自己管理の重要性他、事細かくお話しされておりました。

私事ですが透析導入して今年の一二月で二年目になり総会も二回目の参加ですが、会場準備、受付、会計等々、青年部・役員の方々の協力あつての事だと感じました。大変お疲れ様でした。



全腎協全国大会in富山に

参加して

田辺 哲明

(札幌北楡病院)

初心、忘るべからず

富山県富山市、人口四万八千五百、大化の改新(六四五年)以前には存在していたという古い町である。私達には、越中フンドシ、

薬の萬金丹、一九五五年頃のイタイ、イタイ病、北前船の寄港先としてなじみのある町である。

大会前夜の交流会は、地元富山県腎友会を中心に、心のこもった接待を受けて、和気あいあいと交流を深めた。大会の開催に当たっても充分な世話をしてくれた事から心からお礼を述べておきたい。

大会は、基調報告を土台に、全腎協組織の現状の分析・再生・再生の戦略を指し示した。「今日の全腎協活動に対する透析患者から

議事で討議するには十分な時間ではないが、五つの分科会がもたれた。

一・第一分科会 長期透析患者の合併症の予防と対策

二・第二分科会 腎臓病患者の医療、福祉制度を考える

三・第三分科会 腎臓移植の普及を考える

四・第四分科会 魅力ある患者会を目指して

五・第五分科会 在宅医療について(CAPD、家庭透析)

全国の患者仲間が色んな知識を出し合い、結びついている現状が報告され、大いに勇気づけられた。

後期高齢者医療制度に見ても、国民の多くは撤回を求めているし、将来、二年ごとに負担の見直しをする制度の内容に大きな不安を抱いている。

医療制度を守り、「命と暮らしを守る」只一つの方法は、患者会が一〇〇パーセントの組織力と政治力を持つことである。そのためには、自ら立ち上がり運動しなく

では、周りの誰もが理解し得ないのは道理である。その第一歩が腎友会に入会することから始まる。

先輩達が苦勞して、患者自らの手で「命と暮らしを守る」決意を持って、それを実現したというのには頭が下がる。今、現在その制度のもとに、恩恵を受けていることに感謝し、奮起せざるを得ない。

この札幌の組織の中でも、この制度の適用を受けなければ、九割の人達は「金の切れ目が、命の切れ目」で死んで行くであろう。

私達の周りは、原油高による物価高の生活破壊、年金破壊、医療費抑制削減による負担増、食料の世界的な奪い合い。右を見ても、左を見ても「命と暮らし」を大きく脅かしてやまない。

政治的にこれだけ破綻を期した現在、私達が腎友会に参加して、地に足の着いた、緻密な運動からしか改革の矛先はつかみ得ないだろう。弱者に残された手段は、団結のみである。

投稿

趣味との出会い、そして今

佐藤 誠一
(札幌北クリニック)



私の趣味はスポーツを行う、観戦する・音楽を聴く・カメラ(写真)・料理を作る。自分自身で興味を抱いて取り組んだもの、環境(友人、職場、家庭等々)の影響を受けて取り組んだものと、きっかけは色々あります。

まずは、小学校で野球に出会いました。当時の小学校での運動と言えばドッチボールか野球と言ったところでした。

そんな事で、社会人になってからも会社内で野球チームを作り五〇歳を超えるまで関係会社とのリーグ戦、朝野球等に参加して楽しむ事が出来ましたし、会社についての野球チームの効用もありました。

特に各地から集まった若い新入社員は土・日の時間つぶしとストレス解消に役に立ったのではないかと思いますし、私自身も若い人達とのコミュニケーションを図り、仕事上でも役立たせる事が出来たと思います。

野球の次に出会ったのは音楽でした。映画(主に洋画)のサウンドトラックミュージックがきっかけとなり、当時食べるのも二の次で機器(音作り)に没頭しました。

今考えて見ますと当時は車など到底買えるものではありませんでしたので、せいぜい映画や音楽が

楽しみの代名詞と言ったところでした。

そして、自称「マニア」の仲間入りをして今まで四〇年以上を過ごしてきましたが、聴く音楽も多種多様でクラシックからジャズまでその時々で気分がなんでもござれですが、強いて言うならばジャズを聴いている時間が一番ハッピーかも知れません。特にカルテットくらいが心地良いですね。

昨今、年に数回程度ですがジャズコンサートに足を運んでいます。が、身体を動かしリズムを取って時間を忘れ、おまけに自身も忘れてしまいました(?)

二年前、以前から憧れのサキソホン(アルト)を入手しました。早く格好良く吹いてみたいと自己練習していますが壁にぶつかり只今休業中、なかなか思う様には行きませんが我が人生です。

次はカメラですが、二〇歳前半、先輩の影響で現像、焼き付けまで自身でおこなっていました。が、結婚してからはもっぱら二人の娘たちの記録写真に没頭して、今や二人の娘が結婚し、三人の孫ができて孫の記録写真を撮ってはニヤニヤのじーちゃんバカです。この先「おじいちゃんが撮った写真」と想い出してくれたら趣味の写真としては本望である。

さて、お次は極め付けですよ。現在大活躍中の料理のお話をしたと思います。

歴史は新しく三年前、ちようど透析を開始した頃から目覚めたようにはじまりました。

きっかけは透析中に見たテレビ番組「NHKきょうの料理」でした。

もともと適当に調理していましたが、番組を見ていて本格的に作ってみようと言う気持ちになった訳です。

あのソースはこうして出来るのか、この味はこうして出来るのかと、毎月テキストを買っては番組を見てチャレンジしました。

私は特に中華料理が好物です。で食べて満足感を味わい、食べてもらって喜ばれることが快感となりました。

時には看護師さんと料理の話題で親睦? も図る事も出来るし、食は三大欲の一つです。とっても大切なものですから、男としてもある程度の知識をもつ事は、人間性を高める事になるのではないかと自負しています。

何よりも毎日三食作って健康に気遣ってくれている世のおかあさん方に、敬意と感謝をもって終わりとします。

二十歳のとき、奥歯の治療のために行った歯科医で、上の門歯二本が虫歯、しかも表面はなんでもないので、中が空洞と診断された。牛乳嫌いだったので、こんな日がいつかは来ると漠然と意識していたが、あまりにも早すぎ。

昭和四九年当時、父の給料は手取り一二万円くらい、私の小遣いは九千円。門歯は保険治療もできるが、保険適用外治療となると、一本三万円、二本で六万円、父の給料の半分が消える。

しがたない教員の家庭、保険がきく、それなりの治療が分相応と覚悟を決め、母に打ちあけた。予想に反して、母はこともなげに、「六万円出してあげる。将来を考え、納得いく治療をしてもらいなさい」と言ってくれた。

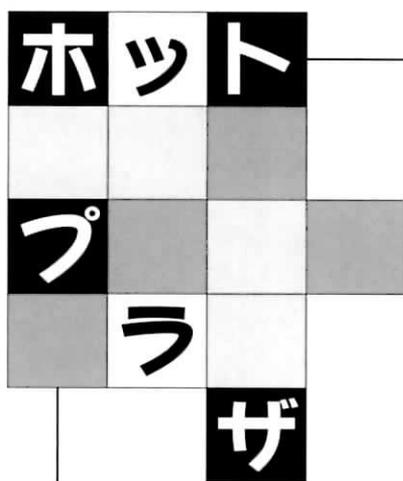
三六歳のとき、右目白内障の手術をすることになった。平成二年、眼内レンズは保険適用外、つまり、一〇万円かかった。わずかな貯金の中から出すつもりでいた。

ところが母は、花嫁道具の代わりに、せめて目にダイヤモンドを入れてあげると言った。

珍しい贈り物第三弾はウエディングドレスである。女性なら誰しも一度は着てみたいと思うのでは？ 私も子供の頃から憧れていた。デパートに陳列していると、しばし足を止め、こんな純白のドレスを身にまとった

てきた。強い憧憬の念を分かってくれていたのか、嫁に行けない娘を不憫に思ってたのか、美しいドレスを前に私はただただ涙がこぼれた。
どこかで読んだ詩に、大切なものはみんなただ、山の緑、お

母からの贈り物



片桐 俊子
(保坂内科クリニック)



ら、それは正にお姫様気分、うっとり眺めた。

もともと結婚願望はなく、その機会もなかったから、ウエディングドレスは遠い存在だった。そのはずだったのに、無駄遣いを一切しない母が突然買っ

いしい空気、川の流れ、そして母の愛とあった。(少々不確かですが…)

母の無償の愛によって、歯と目とドレスが私にもたらされた。歯は三〇数年経った今もその役目を果たし、眼内レンズも

ダイヤモンド以上の価値ある働きをしてきている。ウエディングドレスはまだ出番はないが、最期の旅立ちの白装束にしたい。でも、その時は絹物、だけとか、ウーン、困った!

母からの贈り物は数知れないが、その最大のものは、私をこの世に産みおとしてくれたこと、いつくしみ育ててくれたこと、それにつきると思っている。

もし、病気になるなかつたら、これほど生命の重さを実感することはなかつたらう。一日おきの人工透析で、穿刺の痛みに耐えたり、血圧が下がったり、具合が悪くなったり、様々な場面に直面するたび、ああ、生きていくんだと妙に納得する。

つらいことはある。それ以上に感動も喜びもある。母の凛とした生きざまは私に、泣きごとを言わず懸命に生きていけば、必ず喜びは見い出せる、と教えてくれた。

一億の人に一億の母あれど、我が母に勝る母なし。誰もがそうであるよう、私もそう思っている。お母さん、生命をありがとう。

札幌市障がい者交通費助成見直しについて

札幌腎友会の取組みと状況報告

主な経過報告

(平成二〇年)

●二月二六日

札幌市が「障がい者交通費助成見直し案」を市議会・厚生委員会で提示。

●五月一日

札幌腎友会、「障がい者交通費助成制度見直しに関する陳情書」署名(最終 五、二八五筆)とともに市議会議長宛に提出。

●五月二五日

札幌市の「障がい者交通費助成見直し」についての意見交換会。

●六月一〇日

札幌腎友会提出の「障がい者交通費助成制度見直しに関する陳情書」市議会・厚生委員会で審議、鈴木会長が主旨説明、この件の陳情、他団体四件とともに継続審議に。

●六月一五日

障がい者交通費助成見直しについて「当事者の集まり」に参加、交通権を考える連絡協議会・障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会主催。

●六月二二日

札幌腎友会主催「札幌市障がい者交通費助成見直しに関する意見交換会」開催、市障福祉課の森下課長・庄中係長・小林移動担当係三名、札幌腎友会から三三名が出席。

平成一九年一〇月一八日に上田

札幌市長が「札幌市行政改革プラン」を発表し、その中に「札幌市障がい者交通費助成制度見直し」

(平成二一年四月実施予定)が含

まれていた事から、札幌腎友会では、市長宛の反対要望書提出、役員・会員によるパブリックコメントの提出、意見交換会への出席、見直し案が提示された市議会・厚

生委員会の傍聴等行ってきました(平成一九年度の経過については、平成二〇年度第三三回札幌腎友会定期総会議案書を参照)。

六月一〇日に市議会・厚生委員会で審議された札幌腎友会の「障がい者交通費助成見直しに関する陳情書」提出の際には、会員・役員の皆さんに署名を集めていただく期間がたいへん短かったにもかかわらず、最終的に、五、二八五筆の署名が集まりました。ご協力ありがとうございました。市議会・厚生委員からは、「これだけの陳情や反対意見があるのに、すべての障害で一律の助成額・急激な削減は障害者の生活の基盤が損なわれるのではないか。白紙、もしくは十分に討議の上きめ細かな対応を市に求める」と、いった意見が大半でした。それに対し市は、「通所・透析の通院等、必要な外出については考えていきたい」また、中田副市長は、「皆さんに受け入れてもらえる制度を検討」と答え、陳情五件は継続審議となりました。

六月二二日の札幌腎友会独自の市障がい福祉課との「障がい者交



平成20年5月25日(日) 全障がい者に対する市との意見交換会(社会福祉総合センター)



平成19年11月20日(火) 助成見直し案説明会(社会福祉総合センター)

●別図 交通助成見直し案

助成の種類		【現行制度】				【見直し案】					
		年間 利用上限額 (助成上限額)	身体障がい				年間 利用上限額	身体障がい			
			1級	2級	3級	4級		1級	2級	3級	4級
福祉乗車証	選 択	制限なし	○	○							
タクシー券		39,000円 (同上)	○	○		24,000円	○	○	○	○	
ガソリン券		30,000円 (同上)	○	○		24,000円	○	○	○	○	
福祉割引 ウィズユーカード	選	264,000円 (120,000円)			○	○	52,800円 (24,000円)	○	○	○	○
定期券	択	制限なし			○	○					

※札幌市(案)より、身体障がい関係のみ抜萃。

通費助成見直しに関する意見交換会”では、会員・役員から、「私たち透析患者は年一五六回の透析

があつての社会参加だ、その実態に合った区別はどうしても必要で、今でも通院の交通費が生活を

「弱者にきわめて過酷な見直し案である。国も市も無駄遣いをしていて、身をけずって、がまんしてくださいというのなら分かるが、なにもせずこの案を障害者に突きつけるのは本末転倒だ」「タクシー券はいまでも三ヶ月でなくなつてしまう。見聞きする市職員の天下りの事は目にあまる」「福祉乗車証は全廃しなくても、格安なウィズユーカードなどはどうか」「福祉乗車証が

なくなると生活が困窮する人がいる」「タクシーは六五〇円券に」「札幌市は人件費を五億円削減したというが、欠損した職員を補充しなかっただけで、職員の給与は減額されていない」「この、要望はどんな形で市長に伝わるのか」

「この案自体がとんでもない自己負担」等、が出されました。森下課長は、「札幌市全体で考えてほしいというのは胸に刻む、障がい者の生活が厳しい、交通費助成が生活の基盤をささえていると思うので、できることは何かということとで考えていきたい。皆さんのご意見はそれぞれの段階で市長に報告し、指示をいただいでやっていきたい」等答えました。

この、「障がい者交通費見直し」を含む札幌市の「行財政改革プラン」は、条例ではないので、市民・議員の意見を広く聞くとしていますが、市長が立案し実施するものです。市長が「この案で実施」と、決めれば、そのまま実施されていくものです。今後も札幌腎友会では、皆さんとともに運動していきたいと思えます。ご協力をお願いします。



6月22日(日) 腎友会に対する意見交換会
(ホテルユニオン)



6月10日(火) 厚生委員会での主旨説明(鈴木会長・左)

交通費助成陳情署名集計

平成20年6月12日現在

施設名	署名数	施設名	署名数
石川泌尿器科	330	しらかば泌尿器科クリニック	60
稲積公園駅前クリニック	140	市立札幌病院	110
いのけ医院	80	新札幌循環器病院	30
H・N・メディックさっぽろ東	70	仁榆会病院	91
N T T 東日本札幌病院	86	澄腎クリニック	369
小笠原クリニック付属外来プラザ	23	桑園中央病院	60
勤医協中央病院	205	田島クリニック	199
クボタ泌尿器科クリニック	20	手稲ネフロクリニック	70
クリニック198札幌	360	ていね泌尿器科	407
光星泌尿器科医院	40	中野医院	126
坂泌尿器科病院	10	新井田医院	150
札幌北クリニック	270	東苗穂病院	72
札幌センチュリー病院	57	保坂内科クリニック	60
札幌セントラルクリニック	80	星野泌尿器科	111
札幌東クリニック	112	北光記念病院	60
札幌北榆病院	375	宮の森記念病院	180
札幌南一条病院	386	もなみクリニック	53
三樹会病院	180	ゆうあいクリニック	10
J R 札幌鉄道病院	100	北海道難病連	17
篠路はまなすクリニック	108	個人会員	18
		合計	5,285

※この署名は、札幌市内の透析施設にお願いしたもので、札幌市外は入っていませんのでご了承ください。

※札幌市の署名は5,285筆となりました。ありがとうございます。

ニュース

拒絶反応のない腎移植

親族間移植で高い効果

2大学で実施へ

生体腎移植で拒絶反応を抑える新手法が開発され、倫理委員会の承認も今春に得て、希望者への実施がスタートする。

計画しているのは、東京女子医大（腎臓外科）、順天堂大学（免疫学）で、当面慎重を期し三〜五組に絞る。

免疫をつかさどる「T細胞」に特殊な処理を加えることで、手術直後以外は、免疫抑制剤を飲まずにすみ、副作用を避けられる。

T細胞は、ウイルスや細菌など異物を認識して攻撃し免疫をつかさどるが移植臓器も「異物」として攻撃するのが拒絶反応である。

新手法では、移植手術前日に患者と提供者相方の血液からT細胞を採取し、混ぜ合わせ特殊な抗体と共に二週間ほど培養し患者の体内に戻す。このT細胞の働きで、移植腎は無視し、ウイルスや細菌などへの攻撃力は衰えない。

従来生涯飲んだ免疫抑制剤が、不要となり大きな福音である。

（朝日新聞 二〇〇八年六月三〇日

朝刊より）

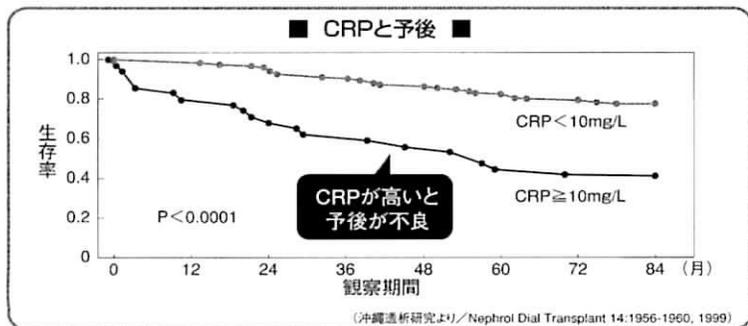
沖縄透析研究から明らかになったこと

三〇年にわたり沖縄県下の透析者の方々を対象として行なわれてきた疫学調査(沖縄透析研究)では、透析者の将来の健康に影響を及ぼす要因が明らかになりました。それらの要因には、年齢や透析導入の原疾患など変えることができないものと、生活習慣など改善できるものがあります。なかでも、慢性炎症状態と栄養状態は、透析者自身の努力で改善できるものです。

●慢性炎症状態と予後

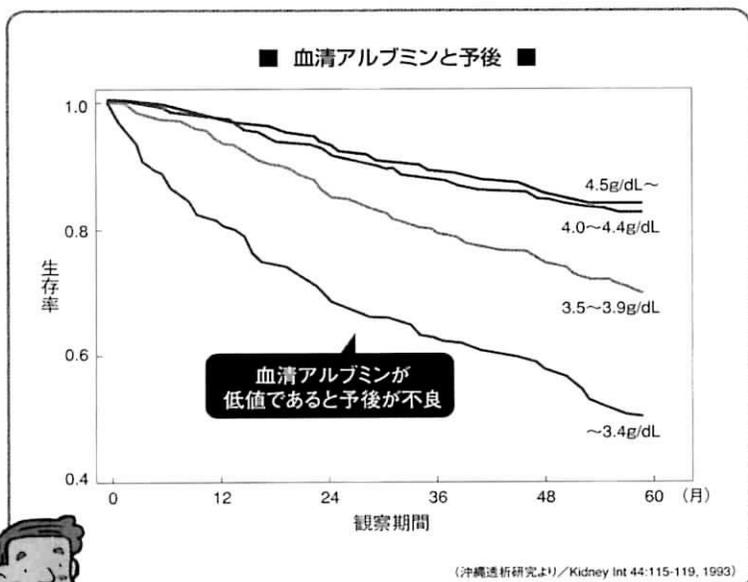
CRPが高い、つまり炎症状態の程度が重いほど、予後が不良であることがわかりました。

CRPは、風邪や気管支炎などの感染症にかかったり、ケガをした場合上昇し、それらが治ると回復します。このような一時的な上昇は正常な反応ですが、高値が続く慢性炎症状態では心筋梗塞や脳梗塞が起こりやすいことが知られています。



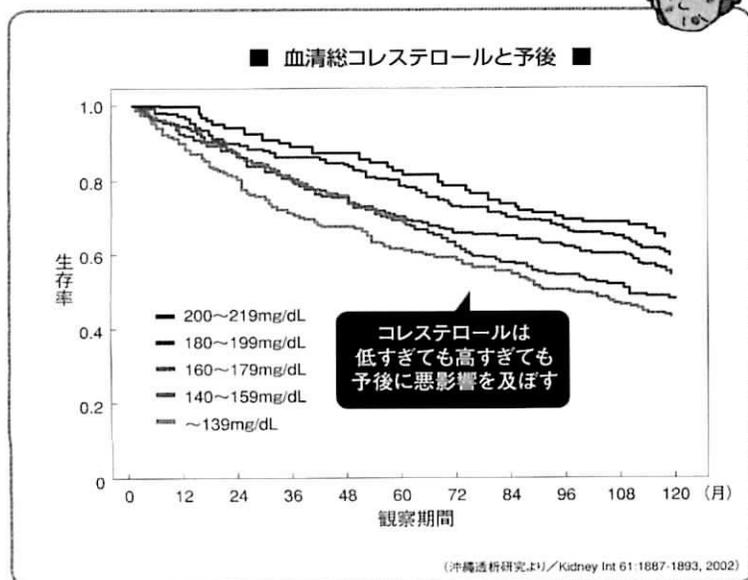
●栄養状態と予後

透析者には水分摂取や生活上に制限があるため、栄養状態が良好でない方が少なくありません。



●血清アルブミンと血清総コレステロールについて解析した結果、栄養状態が不良である(血清アルブミン、総コレステロールが低値)ほど予後

不良である(血清アルブミン、総コレステロールが低値)ほど予後



も不良であることがわかりました。リンやカリウムなどの制限を守りながら栄養状態を良好に保つことは、非常に重要なことなのです。

血清総コレステロールの図では、グラフが重なり見にくくなるため、二二〇mg/dlを超える場合の生存率曲線は記載していませんが、一六〇~一七九mg/dlの場合と同程度となります。

コレステロールは低すぎても、高すぎても予後に悪い影響を及ぼします。

青い鳥はがきのご寄付をいただきました。
大切に使用させていただきます。ありがとうございます。
(敬称を略させていただきます)

◎稲積公園駅前クリニックス

佐藤 京子 奥山 好子
達見しまし 沢田 英子
坂本ウメ子 松永 瞳
千葉 聡子 横堀 信雄

◎H・N・メディック

赤川 良介 田宮 英代
掛端 トミ 村瀬 文子
松下のぶ子 高橋 節子
H・N・メディックさつぽろ東
庄野 一男

◎NTT東日本札幌病院

金野 正明 西 弘子
南 昇一

◎勤医協中央病院

植田 次生 木谷 憲男
鹿糖 登 高山 早苗
宇野 早苗 小林 和雄
森野 廣 中村 喜公

◎光星泌尿器科医院

前川美代子 佐藤 功

◎五輪橋内科病院

石井 典子 佐藤 功
黒川 一郎 佐野 常世
坂本 信子 本多 順子
美濃 健一 山田 勝実
平林 國男 渡辺 たつよ
増井アヤ子

◎札幌北クリニックス

鈴木 啓三 鈴木 洋子

◎札幌セントラルクリニックス

西山 利彦 卯野 照美
丸山 芳子 加藤 久子
山内 慧 倉本 励
森田 栄 川原 武明
田辺 哲明 佐々木洋子
坂井高之丞 西東 誠次
内田登美子 藤井 唯嗣
松木 英二 結城 進一
鈴木 英二 柏木由利子

◎札幌北楡病院

森田 栄 倉本 励
田辺 哲明 川原 武明
坂井高之丞 西東 誠次
内田登美子 藤井 唯嗣
松木 英二 結城 進一
鈴木 英二 柏木由利子

◎札幌東クリニックス

山村 恵

◎札幌南一条病院

坂 孝光 大友 幸子
三樹会病院 島田 年美
松谷 賢 工藤 るみ
立花 雅弘 佐々木ニワ
佐々木ニワ

◎篠路はまなすクリニックス

中崎美津子 中崎千江子
笠原 君枝 金津千枝子
遠山 サダ 片岡 弘子
横井 祐子 新山 栄子
中嶋 一夫 馬場久仁夫
小野塚 央

◎JR札幌鉄道病院

馬場久仁夫

◎仁楡会病院

山田 裕

◎澄腎クリニックス

笠原 澄子 鈴木こずえ
大塚 艶子

◎ていね泌尿器科

野田 建雄 佐賀 直次
林 敦子 小西 英子
林 静恵 河村 禮子
椿 恵子 作田八重子
横山チエ子 佐々木多紀子
大野 武昭

◎中野医院

福原真理子

◎新井田医院

岡崎 政司 榑田 郁子
岩部 浩子 近藤 眞江
土肥智恵子 荻田陽三郎

◎広田医院

外崎 豊

◎福住泌尿器科

千葉 猛

◎星野泌尿器科

水谷 義彦 松井亜由子
吉田希代乃 上原 賢治
著名 二名

◎宮の森記念病院

小澤由紀恵 中谷 秀機

◎H・N・メディック北広島

木村 ミヨ 五十嵐貞二
尾久 輝子 木村 春光
氏家 泰之 佐々木 勝
豊島 久美 金子 一
田中 勝則 山内 益子
加藤 一裕

◎個人会員

加藤 一裕

国後は還付申請（領収書と透析を受けた病院での証明書が必要）を行うことで、日本の透析医療に準じた金額が戻ってきますので、海外へ行ってみたいと思っている方は、是非チャレンジしてみてください。

ここ数年は海外から足が遠のいていますが、昨年結婚もしましたので、休みがとれば妻と一緒に海外旅行に行きたいなと思っています。今度は二人分の旅費と透析代がかかるだけに頭も財布も痛いですがね！

ージ『えりすろぽえちん (<http://hitsuji.net/>)』を開設し、アドバイスやお手伝いをしてきました。最近サポートする旅行会社も増えてきましたし、「ぜんじんきょう」でも海外透析旅行が特集で取り上げられるなど、気軽に出かけられるようになってきたと思います。もちろん言葉の問題はありますが、基本的な治療は日本国内と大きな違いはありませんので、透析の予約さえ取れば、格安の航空チケットだけで海外へ行くことも可能です。帰

青年部のページ



海外へ出かけてみませんか？

外川 純也 (星野泌尿器科)



透析を導入して15年が経過しました。大学1年で腎不全が発覚し、保存期を1年半ほど過ごした後、20歳を迎える1月に成人式にも出席しないまま透析

を導入しました。最初は腹膜透析でしたが、腹部カテーテルの根元から小さな肉片がいつも飛び出していたため感染が起りやすく、入退院を繰り返す不安定な生活が続いていました。大学院進学後は研究主体の生活へと変わったため血液透析へ変更し、その後は順調な透析生活を送っています。

平成10年の秋、カナダで開かれた学会に参加することになりました。旅行会社主催の透析ツアーがあることは知っていましたが、一般的な海外旅行と比べて高額ですし、さらに滞在先がロンドン（カナダ・オンタリオ州）という、日本人でもあまり知らないような町

への旅行でしたので、インターネットを使って透析施設を探しました。10年前はインターネット上の情報も限られていたため大変でしたが、トロントやロンドンの透析施設へメールやファックスを送り、予約を取り付けました。実際に行くまではかなり不安でしたが、透析の機械を見たときにほっとしたことは今でも忘れられません。その後、フランスやベルギー、イタリア、スペインなどで透析を体験してきました。オーストラリアでは、穿針を何度も失敗されてしまい、首元の頸静脈にダブルルーメンを入れられての緊急透析と1泊入院を経験し、さらにコアラもオペラハウスも見ずに帰国したことが、ちょっと心残りになっています。(いつかベンジします！)

海外での透析中、医師やスタッフからなぜ移植をしないのかとよく聞かれます。若い患者が何年も透析をしているのは不思議なようです。日本の移植事情や拒絶反応のことなどお話ししましたが、腎移植をしている看護師に「もし拒絶反応によって腎臓がダメになっても、また移植をすればよい」と言われ、日本と大きく異なる移植事情を痛感しました。これがきっかけとなり、献腎移植の登録を行いました。

これまでの経験をもとに、海外透析経験や予約方法のノウハウなどをまとめたホームペ

【ご 訃 報】

堀井 和彦氏



平成二〇年五月二六日、ご逝去されました。

昭和五八年度と昭和六一年度まで会計、昭和六二年度から副会長として、今年度まで長年会活動にご尽力いただきました。

生前のご活躍を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。



召天告別式にて故人を偲ぶ鈴木会長

《事務局活動経過報告》

- 2月21日 患者数調べ発送
- 3月4日 長期透析表彰式実行委員会 (9名)
- 13日 “ぜんじんきょう” No.226 発送
- “どうじん” 第119号 発送
- “どうじん” P R 版 発送
- 16日 第3回幹事会 (北区民センター 29名)
- 18日 “生きる仲間” 第83号 発送
- 25日 事務局打合せ (7名)
- 4月4日 会費納入願い 発送
- “生きる仲間” 臨時19号 発送
- 10日 道腎協30周年記念誌 発送
- 15日 交通費助成見直し陳情署名 発送
- 17日 札幌腎友会定期総会議案書 発送
- 22日 事務局打合せ (8名)
- 総会打合せ (8名)
- 5月1日 交通費助成見直し陳情書提出
- 道腎協総会ポスター 発送
- 8日 “どうじん” 議案書 発送
- 11日 平成20年度第33回定期総会・長期透析表彰式 (北区民センター 65名)
- 13日 “ぜんじんきょう” No.227 発送
- 15日 生きる仲間編集委員会 (3名)
- 22日 事務局打合せ (8名)
- 25日 交通費助成見直し意見交換会 (10名)
- 6月10日 札幌市議会厚生委員会で陳情書が取り上げられ、鈴木会長が趣旨説明をする
- 19日 事務局打合せ (8名)
- 第1回幹事会打合せ (8名)

■事務局だより■

- ◎難病連への協力事業として、毎年取り組んでおります大通ピアガーデン利用券の販売にご協力をお願い致します。
- ◎講演会を9月7日(日)に予定しております。詳細は後ほどお知らせ致します。大勢の方のご参加をお待ちしております。
- ◎腎提供者拡大街頭キャンペーンを9月28日(日)に大通西3丁目において開催します。皆様のご協力をお願い致します。
- ◎ご寄付を頂戴しております。会活動に役立たせていただきます。ありがとうございます。
 - ・工藤 るみ 様(三樹会病院)より 2,000円
 - ・竹内 睦子 様(個人会員)より 530円
 - ・酒井 路男 様(中野医院)より 5,000円
 - ・小野寺 拓 様(個人会員)より 10,000円
 - ・平沼 悦子 様(星野泌尿器科)より 2,000円
 - ・故 権平 裕二 様(札幌北クリニック) 奥様より 100,000円
- ◎クリニック198札幌の幹事が独自のお願ひ文を作り、患者に配布した結果、青い鳥ハガキ533枚と切手793円分が集まり、ご寄付いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。
- ◎切手のご寄付を頂戴しております。会活動に役立たせていただきます。ありがとうございます。
 - ・札幌東クリニック 山村 恵 様